

米兵の少女暴行事件は許せません

全国の
連帯で

米軍基地の強化許さず、 縮小・撤去を **日本共産党**



2月10日、14歳の女子中学生が、海兵隊員に拉致され、車の中で暴行されるといういたましい事件が発生しました。絶対に許せません。

沖縄県議会が2月14日に、抗議決議をあげるなど、今回の事件への怒りが「島ぐるみ」でひろがっています。

赤嶺議員らが政府へ抗議

日本共産党沖縄県委員会は2月12日、外務省沖縄県事務所と沖縄防衛局にたいし、下記の「米海兵隊員による女子中学生への暴行事件に抗議し、米軍人、軍属による犯罪の根絶に関する申し入れ」をしました。

- ①犯人の厳正処罰と、被害者への完全補償を
- ②米軍人、軍属による犯罪の根絶の為の実効ある措置を。
- ③日米地位協定の抜本の見直し。
- ④すべての海兵隊員の撤退を求める。
- ⑤名護市辺野古への新基地建設の中止、撤回。

政府が米軍に申し入れる

「綱紀粛正」では解決しません

今回、犯行におよんだ隊員が所属する海兵隊は、イラクやアフガニスタンでも真っ先に殴り込み、掃討作戦で罪のない女性や子どもやお年寄りも殺害している部隊です。

これまでも、政府は米側へ『綱紀粛正』を求め

てきましたが、米兵による犯罪・事件は繰り返されています。

本当に政府が『再発防止』を求めるのであれば、そのおおもとである米軍基地を縮小・撤去すべきです。

志位委員長が呼びかけ

いま政府は、米軍再編への協力度合いに応じて、市町村へ再編交付金の配分を決定し、再編反対の自治体へ圧力をかけています。

米軍基地と部隊駐留を許している根拠は日米

安保条約です。日本共産党は安保廃棄をかけた党として、2月14日、志位和夫委員長は「全国で基地強化を許さず、縮小・撤去をもとめる運動と連帯してたたかう」ことをよびかけました。

九州・沖縄民報

2008年2月号外 日本共産党が見解と予定候補者を発表しました。
日本共産党国会議員団九州・沖縄ブロック事務所
【事務所】〒810-0022 福岡市中央区薬院3-13-12大場ビル3階
電話092-526-1933【沖縄分室】電話098-862-7521 九州・沖縄ブロッ
ク事務所ホームページは、左のQRコードを携帯で読み取ってください。



制度解説
(記載例)

衆議院比例代表は
日本共産党と「政党名」で
(候補者名では無効です)